

社団法人私立大学情報教育協会  
平成 21 年度 第 1 回サイバー・キャンパス・コンソーシアム  
土木工学グループ運営委員会 議事録（案）

- I. 日時： 平成 21 年 9 月 18 日（金） 13:30～15:30  
II. 場所： 私立大学情報教育協会事務局会議室  
III. 出席者： 塩見委員、北詰委員、井端事務局長、森下、恩田

【検討事項】

1. 記録担当 北詰恵一委員

2. 学士力の詳細設計について

- ・事務局より、資料に基づき説明があった。
- ・学士力の詳細設計について、次のように議論した。

学士力 1 は、土木工学の専門基礎の理解とする。その内容を系として具体的にあげ、コアカリキュラムは、直接それらに対応する科目とする。到達度は、工学的基礎知識を身につけ、その知識をもとに土木工学の専門基礎を理解し、身につけていることとした。

学士力 2 は、総合的マネジメントの観点からの各工程の仕組みの理解とし、それらに対応したコアカリキュラムを定めた。到達度は、各工程に関する知識の理解と基礎的スキルの体得、およびそれらの関連づけとした。

学士力 3 は、技術者としての倫理の重要性の認識とし、それに対応したコアカリキュラムを定めた。その内容が、土木工学を超えて広い範囲にわたることから、到達度としては、それらと土木工学との関連性の理解と公共性の認識を設定した。

学士力 4 としては、「自然環境と社会との調和」に力点を置き、コアカリキュラムは、その総合性の観点から、課題演習、インターンシップ、卒業研究とした。到達度としては、自らのデザイン能力と土木施設の特性の理解と卒業研究の発表として設定した。

- ・議論の結果、その経過として、別紙「土木工学系における学士力（案）090918」がまとめられた。

3. 今後の検討スケジュールについて

- ・もう 1 人の委員を、アンケートに答应いただいたメンバーの中から、地域性を考慮して首都圏の大学の先生にお願いすることとなった。

4. その他

- ・次回の委員会開催日 10 月 22 日（木） 13 時 30 分から 15 時 30 分  
場所 中部大学（詳細は未定）
- ・宿題 『到達度、測定方法の検討案』

以上